

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)

【公開番号】特開 2004-7630 (P2004-7630A)  
 【公開日】平成 16 年 1 月 8 日 (2004.1.8)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-001  
 【出願番号】特願 2003-124677 (P2003-124677)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 N      5/228      (2006.01)**

**H 0 4 N      5/232      (2006.01)**

**H 0 4 N      5/262      (2006.01)**

【F I】

H 0 4 N      5/228                      Z

H 0 4 N      5/232                      Z

H 0 4 N      5/262

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 28 日 (2006.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の倍率にある第 1 の画像と、第 2 の倍率にあるその後の画像と、前記第 1 の倍率と前記第 2 の倍率との間の倍率にある少なくとも 1 つの中間画像とを含むズームされた画像のシーケンスを処理する方法であって、

前記中間画像のそれぞれの少なくともある領域を、前記第 1 および第 2 の倍率のうちの高い方の倍率と同じ倍率のレベルまで拡大するように、前記中間画像のそれぞれに電子ズームを適用するステップを含む方法。

【請求項 2】

前記第 1 の画像と、前記電子的にズームされた画像と、前記後の画像とを含む出力画像シーケンスを生成するステップをさらに含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 の画像と前記中間画像と前記後の画像とに現れる画像シーケンスの被写体を求めるステップをさらに含み、

前記電子的にズームされた画像は、前記被写体の少なくとも一部を含むようになされている、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ズームされた中間画像の少なくともいずれかと、最終画像および前記第 1 の画像の少なくともいずれかとの間にソフトカット画像間遷移を適用するステップをさらに含む請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 5】

前記請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の方法を実行するコンピュータプログラム。

【請求項 6】

前記第 1 の画像と前記中間画像と前記後の画像とに前記画像シーケンスの被写体が表れるかどうかを自動的に判定するようにされている請求項 5 に記載のプログラム。

【請求項 7】

請求項 5 または 6 に記載のコンピュータプログラムを含むコンピュータ読み取り可能記録媒体。

【請求項 8】

第 1 の倍率にある第 1 の画像と、第 2 の倍率にあるその後の画像と、前記第 1 の倍率と前記第 2 の倍率との間の倍率にある少なくとも 1 つの中間画像とを含むズームされた画像のシーケンスを処理するようになされている装置であって、

前記中間画像のそれぞれに電子ズームを適用して、それによって前記中間画像のそれぞれの少なくともある領域を、前記第 1 および第 2 の倍率のうちの高い方の倍率と同じ倍率のレベルまで拡大する処理手段を有する装置。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の装置を有するカメラ。

【請求項 10】

前記装置が自動的に動作するかどうかをユーザが選択するようにされているユーザインタフェースをさらに有する請求項 9 に記載のカメラ。